

令和5年度第2回環境スキルアップ講座_結果報告

1 講座内容と結果概要

本講座は主に環境学習リーダー養成講座を修了した方を対象として、環境の最新の社会動向や情報を提供し、皆様の実践活動を支援するために、開催しています。

(1)テーマ・内容・講師

テーマ：『鳥類が提供する生態系サービスとその喪失危機』

講師：早稲田大学人間科学学術院 准教授 風間 健太郎 氏

内容：生物が生態系の中で果たす役割を通じて人間が享受する利益を生態系サービスと呼ぶ。近年、過度な人間活動により鳥類の多様性が急速に失われ、鳥類が提供する生態系サービスの多くも失われつつある。本講演では、海鳥が提供する生態系サービスについて実例をあげて紹介する。続いて、洋上風力発電によるバードストライクなど現在海鳥が直面する危機について説明し、さらにはそれをどのように低減すべきか解説する。

(2)開催日時・方法

①Zoom ウェビナーによるオンライン配信 令和5年12月5日(火曜日) 14時～16時

②学習管理システムによるオンデマンド配信 令和5年12月14日～令和6年1月31日

(3)参加人数

①Zoom ウェビナーの受講者 43名

②学習管理システムの受講者 70名

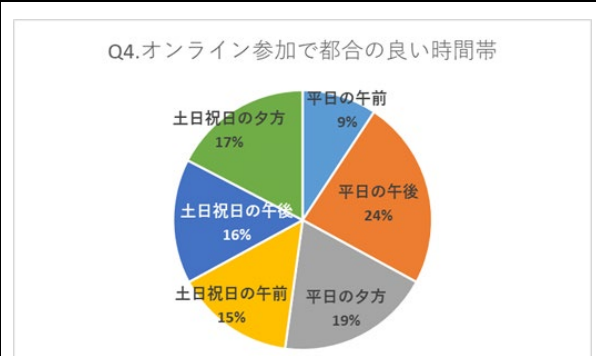
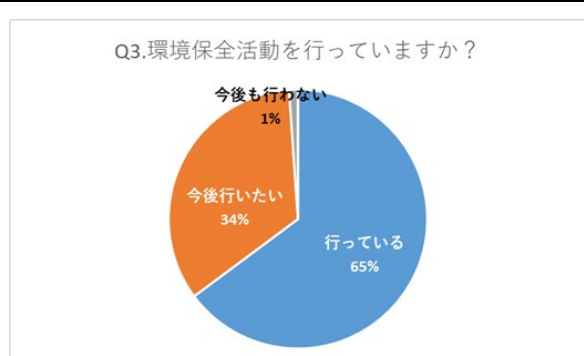
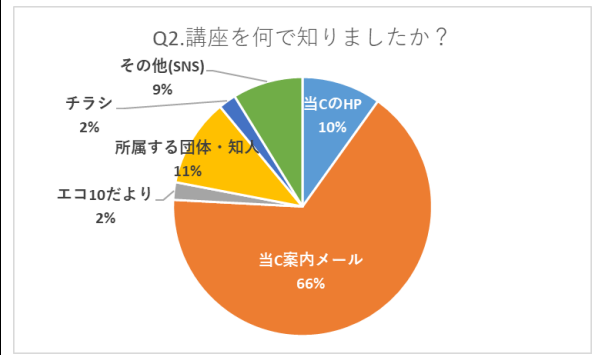
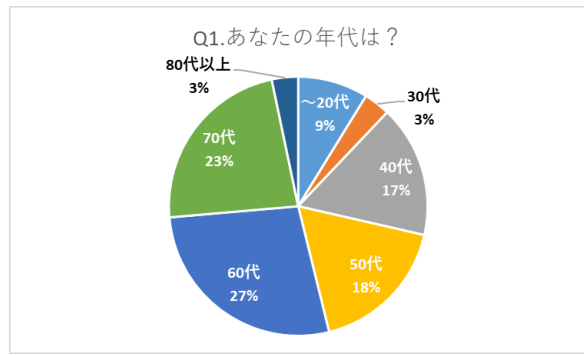
(4)感想等

受講者からは、ウミネコと人との共生について、気づきがあり、考えさせられたと多くの意見・感想をいただきましたので、一部を抜粋して紹介します。

- ・人間活動の影響で生物多様性の喪失が止まらない状況に(戦争や埋め立て計画が中止にならない)無力感を感じていましたが、うみねこんぶプロジェクトやバードストライクの調査などの話を聞き、生物多様性の喪失を食い止めるために取り組んでいる方々の存在を知ること、希望も感じました。
- ・風力発電と海鳥の保全のジレンマのお話から、生きものや環境の全体を捉える視点が大切と改めて感じました。
- ・今回は生物ひいてはその多様性の保全の重要性、人々への理解を促す重要性和難しさ、環境影響評価に関する考え方等について、貴重なお話と考える機会を頂き、有難うございます。
- ・生物多様性を維持しつつ同時に人間生活も持続させることの難しさを感じました。

2 アンケート結果

受講申し込み時のアンケート結果(受講者の属性)



講座終了時のアンケート結果(講座の評価や希望)

